



ウトロの海を守り、利用する 「知床スタイル」

ケイマリの赤いボンでつながる Win-Win の取り組み

知る
ケイマリの工事は小魚。ケイマリは海の健康状態のバロメーター。

つながる
ケイマリのことを考えることで、いろんな立場の人が共に話をし、行動するきっかけに。

守る
少しでもその数が増え、安定するように。

伝える
ケイマリは絶滅危惧種。その存在を知ってもらうことが保全の第一歩。

利用し還元する
多くの目でケイマリを見守り、多くの手でそれを支える。(もちろん人見守る際のマナーは大切に)

Win-Win の関係で、持続的に

いろんな立場の人、ケイマリや他の生きものにとっても、将来にわたってお互いにメリットになるように。

ケイマリを見ることがすべての第一歩。

海上には観察マナー啓発等のために、ケイマリのデコイを設置。

ウトロのどの宿にもどこかに必ずケイマリが。探してみよう！

ウトロの海には、漁師や観光業者、研究者や行政、そして住民や観光客など、さまざまな人が関わっています。立場は違っても、この海とそこに生きている動物たちが、いつの時代も変わらない姿でそこにあり、私たちはその恩恵を受け、その素晴らしいさをいつでも感じられることがみん

なの共通の願い。そのために、私たちは、ケイマリという希少な鳥をシンボルとして、みんながつながり、それぞれが Win-Win の関係を目指した取り組み「知床スタイル」を進めています。ケイマリの赤い足から伸びる赤いリボンでつなぐる取り組みです。

6

